

第155号

発行所：石川自治センター
発行者：石川自治センター長 矢内陽介
〒963-7859
石川町字南町 36
Tel 26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより

地域自治協議会第2回設立準備委員会説明会



14日(金)地域自治協議会設立第2回設立準備委員会をモトガッコで行われた。準備委員会委員15名、役場職員3名、中谷自治センター3名、沢田自治センター1名、石川地区区長会1名、石川自治センター2名が出席した。

協議事項は、企画商工課緑川係長より、石川自治協議会設立に係わる4つの部会(まちづくり委員会、安全安心部会、教育部会、福祉部会)委員の方々に説明が行われた。(1)自治協議会とは(2)なぜ必要なのか?(3)地域の現状、こんな取り組みがあれば(4)そもそも自治協議会が必要?(5)今とどう違うの?(6)これからどうすれば。の6項目において説明がなされた。自治協議会は、地域の住民や様々な団体がまちづくりについて話し合い、課題解決のために協力しながら活動する、まちづくりの新しいカタチで、だれでも活動に参加

説明がなされた。自治協議会は、地域の住民や様々な団体がまちづくりについて話し合い、課題解決のために協力しながら活動する、まちづくりの新しいカタチで、だれでも活動に参加

加出来ること。なぜ必要なのか、防災対策等では、障がい者や高齢者への支援、少子高齢化等を福祉・安全安心・教養部会等で話し合い・考えることで、課題解決が見えて来る。地域の現状(人口減少、地域活動の担い手不足外)を踏まえ、住民一人一人の声を話し合いの場、自治協議会に反映させる。地域の横の繋がりを増し、不足や負担を軽減する取り組み。地域の人が地域の為に、話し合い。知恵を出し、汗をかくことが出来る場として設立。町からの支援を有効に活用すれば良い。地域住民が立場を越え、今より少し横の繋がりを持ち住みやすい環境づくりを目指しましょう。と説明した。

今回は、中谷・沢田自治センターのセンター長、事務局長、担当者を招き、委員より要望があった。生の声を聞いた。山田事務局長(沢田)からは、就任1年目の感想として、環境等が変化している現状において、何かを改善することは当然であり、自治協議会において、組織の無駄を省き、変えることが出来る。遠藤センター長(中谷)から平成29年設立、会議が増えることや区長の負担を心配、部会や組織変更をして現在に至っ

ている。志賀事務長からは、自治協議会は、話し合いの場であり、丸投げの場ではないこと。地域の問題等話し合いの場、団体事業等の継続、金銭面での行政負担軽減等貢献している。吉田事務員から、福祉部会では、孤独死を防ぐ為の見守りから始まり、方部会を設置活動することにより住民同士の信頼関係や横の繋がりが出来て、中谷全体で考える場となつて来た。その他、地区自治協議会総会資料等を参考に説明を頂いた。

質疑応答では、Q)運営資金はどのようになっているのか。a)町からの交付金で部会予算として振分けない何故か。町の説明だけでなく生の声を聴いてほしい。a)区長に対しては、4回の説明会を実施。Q)準備委員として、11月から出席自治協議会の中身が分からない。a)説明会の経緯、一番に区長会、次に準備委員の方へ説明している。Q)部会人選について。各自人に説明がなされていない。a)自治センターにおいて選出したが、

言葉が足りなかったことに陳謝し、ご協力を仰ぎたいと思います。各委員からは、率直なご意見等頂き、今後活かして行きます。今後とも、ご理解とご協力をお願い致して閉会となりました。



「ものづくり体験レーザークラフト教室」案内

青少協石川地区協議会(会長 荒川昭男)は、令和4年2月19日(土)午前10時から石川自治センターで令和3年度学習会ものづくり体験教室を行います。講師には、佐藤俊太氏を迎え、レーザークラフトを使った作品づくりを行います。指導にも定評があり、楽しい教室です。

尚、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインをもとに感染症予防対策を実施。感染症拡大により中止する場合があります。

レディース猫啼閉講式、石川寿大学学習会



レディース猫啼（小豆畑ケイ子委員長）1月20日（木）西田屋で令和3年度閉講式を行い12名が出席した。閉講式では、矢内センター長より自主学習でのものづくり活動等に労いの言葉を頂いた。小豆畑委員長は、「コロナ禍の中楽しく学習会が出来たことは、学級生の協力の賜物でした。」と感謝の言葉を述べた。令和3年度事業報告と令和4年度事業計画について協議した。事業報告では、5月予定の開講式は行われなかったが、10月4回の文化祭作品づくり、12月に正月用フラワーアレンジ教室と5回の学習会を行った。事業計画では、コロナ禍を踏まえ、学級生皆さんで話し合い計画を立てる事を確認した。写真12月学習会作品。



石川寿大学学習会

石川寿大学（鈴木芳幸委員長）は、18日石川自治センターで学級生30名（女性26名・男性4名）が参加、1月学習会を行った。石川町保健福祉課健康増進係係長、緑川真理子氏を講師に招き、健康講話「健康寿命を延ばそう。テーマに、健康診断結果の見方外」について学んだ。令和3年度石川町高齢者診断結果を参考に、説明があった。健診結果の見方では、検査項目ごとに、基準範囲、保健指導判定値、受診勧奨判定値、検査でわかること、気になる生活習慣病の為に、今より少し多く運動・減塩の食事・油分の多い食事の回数減外予防習慣を心がける事

を丁寧の説明された。学級生は、メモを取るなど真剣に学びました。今すぐに実践出来ることを継続的に行いましょう。

新田寿健康大学（小豆畑幸司委員長）は、20日新田ふれあいセンターでの1月学習会をコロナ感染症予防の為中止とした。



いしかわ桜谷スプリングフェスタ2022（主催：石川町観光物産協会）開催に合わせ、石川自治センター「まちなか工房」各教室（藤手芸・粘土・リフォーム・手織り・akプロ）は、あさひ公園会場として、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインをもとに感染症予防対策を実施し、各教室の作品展示・即売会。県内で活躍のものづくり作家さん、キッチンカー等の出店予定。

「健康促進事業」みんなでノルディックウォークin石川開催



22日（土）いきいき健康増進事業3自治センター（中谷、石川、沢田共催事業）「健康寿命を延ばそう・ノルディックウォーキング」令和2年11月中谷、令和3年10月から沢田自治センターで講習会を4回行い、初心者コース修了。修了者32名を対象とした、石川地区町内散策を行い21名が参加、石川自治センターで初の開催となった。皆川講師、鈴木課長の指導の下石川自治センター4キロコース散策を行った。自治センタースタートは石都々神社（狛犬）鈴木重謙屋敷酒井お菓子店裏道津神社（神馬）モトガツコ（休憩）石川中（今出川沿い）木造橋（通学橋）ロマンス橋（北須川沿い）自治センターゴールお疲れ様でした。

*まちなか工房藤手芸教室2月休講となります。

2月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
-	-	自治協議会設立準備委員会	未定
15	火	石川寿大学学習会 9:30~	石川自治センター
17	木	新田寿健康大学学習会 9:30~	新田ふれあい
19	土	青少協石川地区学習会 10:00~	石川自治センター
22	火	まちなか工房桜マルシェ出店会議 10:00	石川自治センター

ノルディックウォーキングは町全体での健康づくりを目指し、山橋・野木沢自治センターにおいても初心者コース研修会を実施の予定。今後、月1回第3土曜日に各地区においてウォーク開催を検討。是非ご参加下さい。

